

大会名 Competition	第21回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO, M-105	Year Month Day Time 2008 年 5 月 3 日 16 : 30
場所 Place	能代市総合体育館



チーム A		チーム B
延岡学園	(20 1st 20 18 2nd 16 36 3rd 20 26 4th 23 OT)	能代工業
100 ○		79 ●

主審:Referee 北沢 岳夫 宮城県
副審:Umpire 谷地 温 秋田県

テーブルオフィシャル:Table officials
弘前高等学校

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	内村 祥也	CAP	2	0	1	0	1	4	×	高橋 陽	CAP	14	0	6	2	4
5	×	シダット ジャーラ		29	0	13	3	2	5	×	武藤 修平		6	0	3	0	4
6	×	和田 力也		16	1	6	1	2	6	×	館山 健太		24	3	7	1	2
7	×	永吉 佑也		29	0	12	5	1	7	/	飯田 啓人		0	0	0	0	0
8	×	川元 崇史		18	4	1	4	3	8	×	伊藤 伸高		8	0	3	2	2
9	/	横瀬 孝樹		2	0	0	2	2	9	×	湊 大樹		19	3	5	0	3
10		曾根田 夏樹		-	-	-	-	0	10	/	藤田 洸		0	0	0	0	1
11		湯地 寛文		-	-	-	-	0	11	/	小川 昌志		0	0	0	0	0
12		大坪 将太		-	-	-	-	0	12	/	宮城 大喜		8	0	4	0	1
13		長谷場 祐二		-	-	-	-	0	13		熊坂 兼		-	-	-	-	0
14		中村 友哉		-	-	-	-	0	14		佐藤 文哉		-	-	-	-	0
15	/	エリマン ブイ		4	0	1	2	0	15		西島 宏哉		-	-	-	-	0
16		宇治橋 眞悟		-	-	-	-	0	16		亀山 悟史		-	-	-	-	0
17		中小路 拓		-	-	-	-	0	17		三上 翔平		-	-	-	-	0
18		西口 直哉		-	-	-	-	0	18		伊藤 雄太		-	-	-	-	0
コーチ		北郷 純一郎							コーチ		佐藤 信長						
アコチ		内村 昌弘							アコチ		安保 敏明						
合計				100	5	34	17	11	合計				79	6	28	5	17

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

第21回能代カップ1日目最終戦、共に初戦を快勝した延岡学園と能代工業の対戦。

第1Q、両チームともハーフコートマンツーマンディフェンスで始まる。能代は#8伊藤と#9湊が開幕から連続得点。延岡も#5シダットが2点を返すも、能代の速い攻めにより2-9とされたところで延岡のタイムアウト。それをきっかけに延岡が#5シダット、#7永吉のインサイドを中心に反撃に転じる。能代もアウトサイドと速攻で応戦し、20-20の同点で第1Q終了。

第2Q、延岡はインサイド、能代はアウトサイドと互いに譲らず中盤までシーソーゲームが展開されるが、高さに勝る延岡が#5シダット、#7永吉らの強力なインサイドプレーにより一時37-31とリードする。その後、能代#6館山のドライブ、3Pで差を詰め、38-36で第2Q終了。

第3Q、開始すぐに能代が速攻で38-38の同点とするが、その後は延岡が#5シダット、#7永吉を中心にインサイドを支配し、残り4分で58-46となる。能代はタイムアウト後にオールコートディフェンスに切り替えるがミスが目立つ。延岡は#8川元の3Pなどによりさらに点差を広げ、74-56で第3Q終了。

第4Q、延岡#6和田の得点によりついに20点差がつくが、能代のオールコートディフェンスが機能し、79-67の12点差まで詰め寄る。しかしその後は延岡#5シダット、#7永吉のインサイドに加え#8川元の3P、#6和田のドライブなどで点差は広がる一方。最後は延岡#15エリマンに100点目を沈められ、100-79で試合終了。延岡のインサイドの強さが際立った試合だった。